

令和 8 年 9 月 11 日

第 90 回 法人企業景気予測調査結果（四国地方の概要） （令和 8 年 7～9 月期調査）

企業の景況判断は「下降」超幅が縮小 （「下降」超は 3 期連続）

【景況判断】

全産業の景況判断 B S I（7～9 月期）については、中東情勢の影響等がみられるものの、受注等の増加や価格転嫁の動きに広がりが見られたことから、▲6.7% ㊦（前回調査の▲8.7% ㊦から 2.0% ㊦上昇）となり、「下降」超幅が縮小。

先行き（翌期）については、引き続き中東情勢の影響が懸念されるものの、さらに受注等の増加や価格転嫁の動きが広がる見込みなどから 2.7% ㊦と「上昇」超に転じる見通し。

製造業：前回▲10.5% ㊦ ⇒ 今回▲6.5% ㊦（4.0% ㊦上昇、下降超幅が縮小）

「食料品」（↑）：包装資材の高騰について価格転嫁できたことなどから上昇下降同数

「生産用機械」（↑）：受注が増加したことなどから上昇超に転じる

「金属製品」（↓）：受注が減少したことなどから下降超に転じる

非製造業：前回▲7.6 ㊦ ⇒ 今回▲6.8% ㊦（0.8% ㊦上昇、下降超幅が縮小）

「建設」（↑）：建設資材の高騰について価格転嫁できたことなどから下降超幅が縮小

「農林水産」（↑）：出荷が増加したことなどから上昇超に転じる

「運輸」（↓）：料金を値上げしたことで利用が減少したことなどから下降超に転じる

【従業員数判断】

全産業の従業員数判断 B S I（9 月末）については、引き続き多くの業種で人手不足感があることから、32.3% ㊦（前回の 31.8% ㊦から 0.5% ㊦上昇）の「不足気味」超となっている。

先行き（翌期）についても、30.3% ㊦の「不足気味」超となっており、企業の人手不足感は継続する見通し。

【問い合わせ先】

四国財務局 財務広報相談室
四国財務局 経済調査課

Tel087-811-7780（内線 260）
Tel087-811-7780（内線 250）